

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県桐生市のぐんま昆虫の森

目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 現地支援活動報告①②③
3. 事務所・現地感想文

災害対策本部からのお知らせ

協力員募集！！

引き続き協力員を募集しています。

＜現地＞現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。

中3日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

7月、8月についてもまだまだ空いております。

＜事務所＞平日のみの活動ですが、1～2ヶ月に1回でも構いません。

皆様のご協力をお願いいたします。

次回災害対策本部会議について

次回は7月21日（土）18:00～協会事務所にて開催します。

ご意見や検討事項がありましたら、**7月18日（水）まで**に災害対策本部まで、電話やメールでお寄せ下さい。

書籍販売のご案内

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』の販売を行なっています。

発災から9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。下記よりダウンロードしてください。

URL：http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45



Facebookでも情報をお伝えしています！



現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

現地・事務所職員募集！！

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

(1) 現地常駐者（短期契約職員）

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000 円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇

(2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週4日程度 10～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900 円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。

または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川

現地支援活動報告①

養父 智子（大阪府 大阪府済生会泉尾病院）

期間：6月13日～6月16日

瓦礫と廃車の山が連なる光景や建物の間に広がる更地など、復興を待つ被災地の姿を目の当たりにし、テレビや新聞で目にするのは切り取られた一部分でしかなかったことを今さらのように感じ、言葉にならないショックを受けました。

電話や訪問によるフォローアップ活動では、被災された方々の日常生活を垣間見る貴重な機会となりました。震災によるものだけでなく、震災前からの生活課題が今回の調査によって顕在化したと言えるケースもあり、調査があらゆる生活課題を可視化し、支援のきっかけになっているように感じました。数日間という期間でできることは少ないですが、短期間でもバトンをつなぎ続けることが大切なのではないのでしょうか。

今後は、行政や他の支援団体とどのように連携し、支援を展開していくかが課題だと伺いました。多くの支援者が集う地で、公平かつ個々に必要な支援を的確に提供することは容易ではなく、現地担当者の方々のご苦勞は想像を超えるものだと思います。3日間、丁寧な説明やバックアップをしていただいたことに心から感謝します。ありがとうございました。

現地支援活動報告②

小野川 剛史（高知県 近森リハビリテーション病院）

期間：6月18日～6月20日

現地協力員として初めて参加させていただきました。

前日15時頃に、石巻駅到着後、特に津波被害の大きかった石巻市の沿岸部や女川町を回り、実際に、更地や、大量の廃棄物を目の辺りにし、この被災地で私には何ができるのだろうと不安になっていましたが、現地に常勤するソーシャルワーカー武山様、中辻様から沢山の助言をいただき、何とか活動に参加することができました。また、お二人の立ち振る舞いから、様々なことに気付かされ、学ばせていただきました。ありがとうございました。

活動では、茶話会やフォローケース訪問にて面接を行ったり、ケース会議、復興協議会報告会、健康生活復興協議会等の会議にも参加しました。

震災はどこにいても起こりうるものだと思います。私事ですが、私の両親は最大34.4mの津波が来るといわれている黒潮町の学校に勤務し、震災対策委員として、学校内外で避難訓練を行っています。今回の貴重な経験が私の中だけで終わらないよう、私たちの地域にもつなげていきたいと思っています。

現地支援活動報告③

川津 奈加（高知県 近森リハビリテーション病院）

期間：6月18日～6月20日

この度初めて活動に参加させていただきました。

活動期間中は、Ⅰ期調査のフォロー電話、Ⅱ期調査の訪問、ケース検討会、関係者を招いての報告会への参加など多くを経験させていただきました。調査員による調査結果からソーシャルワーカーの専門的援助に結びつく過程や、県外団体と地元行政の役割分担なども興味深く学ばせていただきました。初めての電話では、緊張で生活状況をうかがう言葉が出ず、用件だけで早々に終えてしまって落ち込みました。もっとしっかりがんばろうと思ったら帰る日になっていたという、あっという間の3日間でした。武山さん、中辻さん、お忙しい中ていねいに教えていただき、素晴らしい仕事ぶりを見せていただき、本当にありがとうございました。

現地感想文

6月25日（月）

さわやかな風の吹く6月の石巻に、新しいスタッフが着任しました。2月の大雪の石巻をすでに経験して、その力量も、意欲もたっぷりの仲間です。早速、ケース訪問に、明日からの関係機関訪問準備に忙しい1日でした。

6月27日（水）

在宅被災者支援基地となっている中里地区サポートセンターのソーシャルワーカー専用室に石巻日赤病院の伊藤 SW と連携室千田課長がいらっしゃいました。とても小さい部屋ですが、ここで遠い牡鹿や雄勝の方に電話したり、記録を保管したりしている様子を見られて、「SW 支援」のイメージが少し掴んでいただけたかしらと思いました。

今度は、大街道の宿舎兼事務所にもぜひとお誘いしました。こちらも全国への発信基地です。

6月30日（土）

関西の雨のニュースを横目に、石巻は連日夏空です！陽射しは夏そのもの！風が涼しいので気持ち良い外出日和が続いています。たくさん歩いて訪問、健康的です。機動力良く、午前午後と動いています。まだまだ、路面は悪いけど、経費節減に自転車を買おうかと、昼休みにリサイクルショップを覗いています。今日は土曜日ですが、平日不在の方に電話、他職種とのコンサルテーションと多忙です。でも、窓外には、山が輝き、近所の子どもの声が響き、のどかです。

7月1日（日）

7月です！石巻はやっとアジサイが色つきはじめましたが、さわやかな風が吹いています。今日は、遊楽館で仮設の運動会があり、久保木さんが見学に行きました。ふれあい商店街ではビアガーデン、あちこちでイベントの日曜日でした。

事務所感想文

6月29日（金）

三輪（事務所担当者）

事務所のお仕事にもやっと少しずつ慣れてきました。とはいえ、まだまだ至らない所も多く、皆様には迷惑を掛け通しですが、これからもよろしくお願ひします。